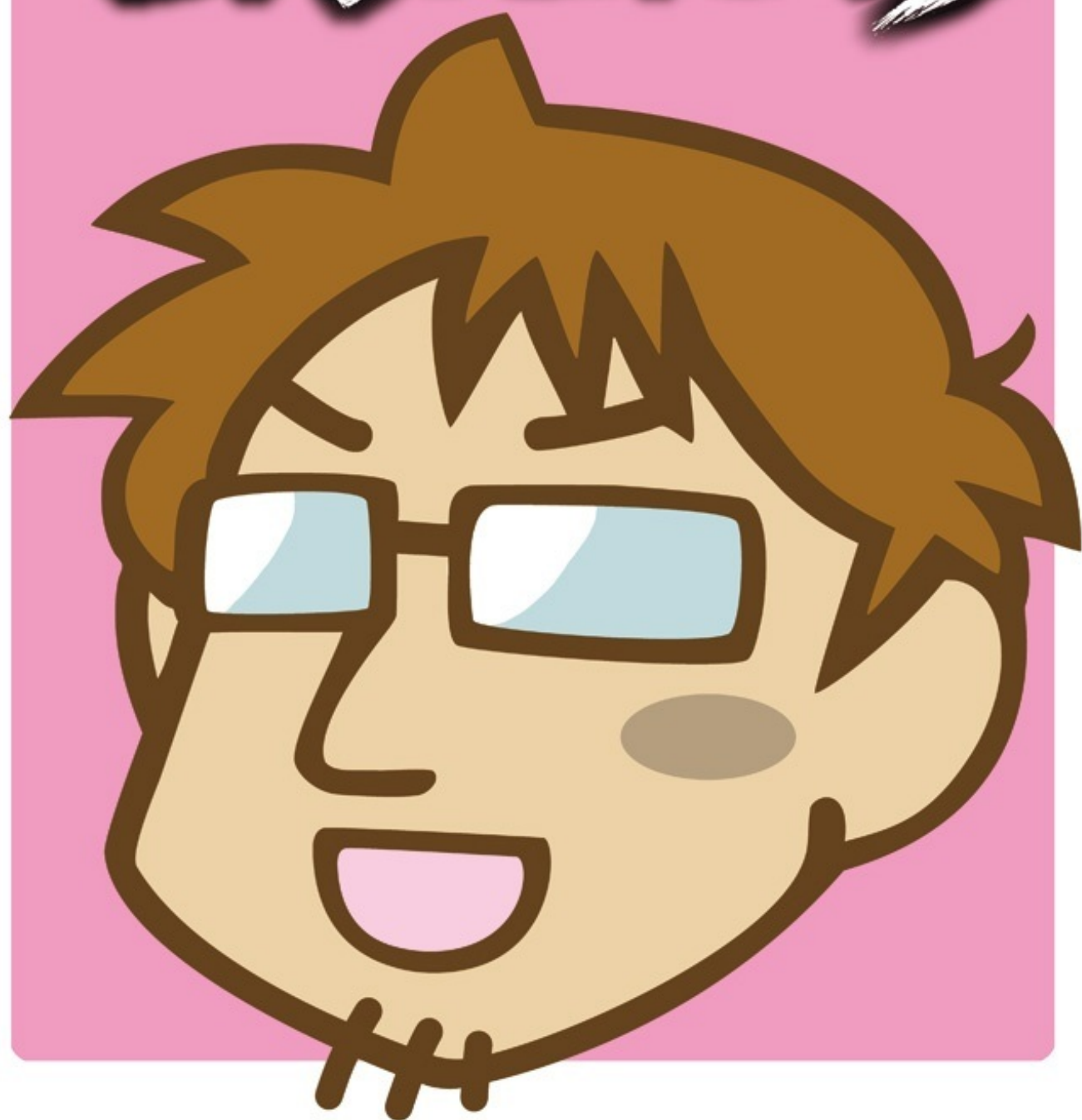


だらだら毎日×村田晴郎

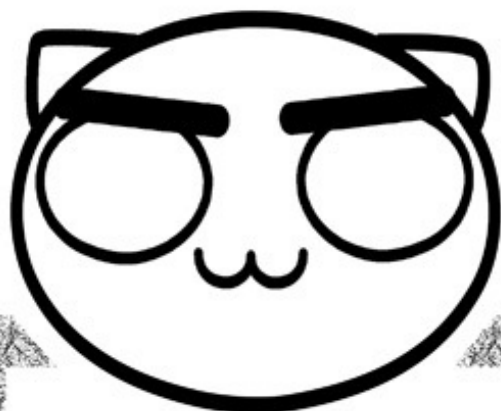
晴郎無双 DARADARA



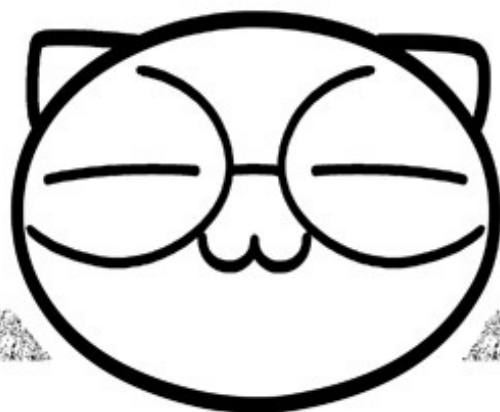


村田 晴郎 (むらた はるお)

CSR コーポレーション所属の声優、
ナレーター、実況アナウンサー、
マシンソムリエ。
プロレス実況、インディカー・シリーズの
モータースポーツ実況等幅広い分野を
SKY Perfect TV 等のCS 放送を中心に
行っている。(Wikipedia より引用)



とぼすけ (奥様)



ねむねむ (ダンナ様)

すいません、ネコじゃないんです。

プロレスの話を
したいんじゃないんです

プロレスの話を
一方的に聞かせたいんです



回想

結婚したばかりの頃
ハヤブサ選手の引退試合に
連れて行ってもらいました

奥様
はじめてのプロレス観戦

なんか
飛んでた



イメージ画像

すげー!!

だいたい
こうぶん

意外に私の反応が
良かったのか

次にダンナが
連れて行ってくれたのが
とある団体
とある武道館

すっげー
後ろの席



遠くで
ちっちゃな肌色
もみあってる

なにが
起こってるのか
さっぱりわからない

後ろの観客が
とにかくうるさい

後ろの観客が
うるさくてダンナに
試合のことを聞こうと思っても
声がかき消されてしまう
パーカパーカ

ていうかなんで自分は
こんな興味もないところに
連れて来られ
座らされているのか
だんだん腹が立ってくる
パーカパーカ



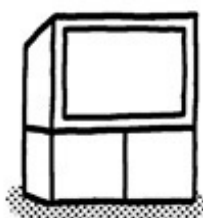


この後数年間、夫婦間でプロレスの話は全くなし



おとなしく
見る

おもしろい



ぐっ偶然
銭湯プロレスって
いうビデオを
持ってるんですけどねっ



銭湯プロレスを
見る

なんか選手が
風呂に入って
茹で上がってた



一軒家プロレスって
いうビデオも
あるんですけどっ

たまたま
棚に置いてあったん
ですけどっ

一軒家プロレスを
見る



なんか
グロくて
ダメだった

なにが
グロかったかは
おぼえて
ない

でもまあ
この頃はさほど
プロレスに興味なし



デッドDTという
団体が出ている
プロレス番組を
偶然流しても
いいかなっ

ぐっ
偶然なら
仕方ないんじや
ないですか？



今しゃべってるの
誰？

村田晴郎さん
ていう
実況の人だよ

ふーん

この人
しゃべるの
面白いね
わかりやすいわー

そうだねー

その後
衝撃的な出会いを
したのが

渡は
リングサイド

マッスルハウス4

えっなにこれっ
すぐく面白くね!?

場外乱闘に
まきこまれた

なんなん？ハア
これなんなん？

あとから聞いたのですが
マッスルハウス4は
伝説になるほど
面白いプロレス興行
だったそうです

これで
ハマりました

終.

●ハヤブサ選手の引退試合

正確には引退試合ではなく、1999年8月23日に後樂園ホール大会で行われた「ハヤブサ プレ卒業試合」のこと。この2日後、札幌大会でハヤブサを卒業した江崎英治だったが、翌年にはハヤブサに戻った。

●とある団体のとある武道館

奥様の希望により非公開。奥様いわく「全然おもしろくねえ」。

●商店街プロレス

テリー伊藤企画でビデオ安売り王から発売された企画モノプロレスビデオのひとつ『ケンドーナガサキのバーリ・トゥード in 商店街』のこと。

商店街の広場に設置された金網リングで行われた、大日本プロレスの若手育成試合。…と思いきや、若手の心がいない試合に切れたケンドーナガサキが、商店街を破壊しながら暴れ回るという展開。スイカ、生肉、ケーキ、生魚、自転車、お店の看板、ゲーム機などなど、さまざまなアイテムが飛び交うなか、トランペット&チアガール軍団がレスラーたちを応援するというカオスな光景が繰り広げられる。クリーニング屋さんのガラスを突き破ってケンドーナガサキが飛び出してくるシーンは、鉄板。

最後は、グレート小鹿社長がアブドーラ小林をバリカンで丸刈りにしたのち、ちゃんこ鍋を食べながら反省会をしていた…ような気がする（うろ覚え）。

●銭湯プロレス

企画モノプロレスビデオ『ターザン後藤 in 大銭湯プロレス』のこと。

タイトルのとおり、銭湯の中で6人の選手がタッグマッチを行うというだけのビデオだが、参戦選手がムダに豪華（ターザン後藤、ミスター雁乃助、中牧昭二、山田圭介、ザ・ヘッドハンターズ）。往年のドリフターズによる銭湯コントのようなゆるいお色気もありつつ、暑いのが苦手なのかヘッドハンターズが本気でつらそうにしているのが印象に残る。試合権利のない選手は熱い湯船の中にいなければいけないというこのルール、意外と過酷なのかもしれない。

●一軒家プロレス

企画モノプロレスビデオ『一軒家！ 家庭内暴力デスマッチ』のこと。

一軒家の中でタッグマッチが行われるのだが、中牧&岡野 vs クリプト・キーパー&ポプ・バラゲイルという今となってはまったく意味のわからないカードのため、いまひとつ乗り切れない。若き日のT A J I R Iも出演していた記憶があるのだが、観直してまで確認する気にはなれなかった。

プロレスブームだったこの時期は、企画モノプロレスビデオが多数発売された。我が家にも上記3本の他、新人時代の高木三四郎が宇宙パワーステーション軍団(?)のひとりとして高野拳磁と戦う『野良犬伝説』『府川由美の美少女戦士伝説 ザ・闇討ちプロレス』『ターザン後藤の誰でもプロレスラーになれるビデオ』などが転がっている。

●マッスルハウス4

2007年5月4日に行われた『マッスル』後樂園ホール大会のこと。

『マッスル』とは、DDT所属の元プロレスラー兼映像作家・マッスル坂井によるきわめて独創的なプロレスイベントで、試合中にスローモーションになる演出や、各種バラエティ番組、コミック、フィギュアスケート、プロレス界のタブーなどを題材とした観客の想像の斜め上をいく展開で熱狂的なファンを生んだ。



メガドライブ

THE
MEGADRIVER

皆さんは、プロレスって観たことがありますか？

「村田晴郎」「神実況」「DDT」といった単語にピンと来る方々は、もちろん観たことがあるでしょう。

ですが、我々夫婦のサイト『だらだら毎日』の読者の方々は、観たことがない方のほうが多いのではないのでしょうか。

かくいう私も、大学に入るまでプロレスとは無縁の生活を送っていました。高校時代にも「長州力と獣神サンダーライガーが大好きで後ろ髪を伸ばしている友だち」はいたものの、私は完全に無関心。いや、子供の時にたまたまTVでちら観したタイガーマスクやアントニオ猪木の試合の悪印象（リングをバックに「●●対●●」という川口浩探検隊のような文字が踊る画面がなぜかとても気持ち悪く感じたのを覚えています）が強かった私は、むしろプロレスがきらいだったような気がします。痛そうだし。えらそうだし。なんで戦ってるのか、意味がわからないし。

そんな私にとってのプロレスの入り口は、『週刊プロレス』でした。

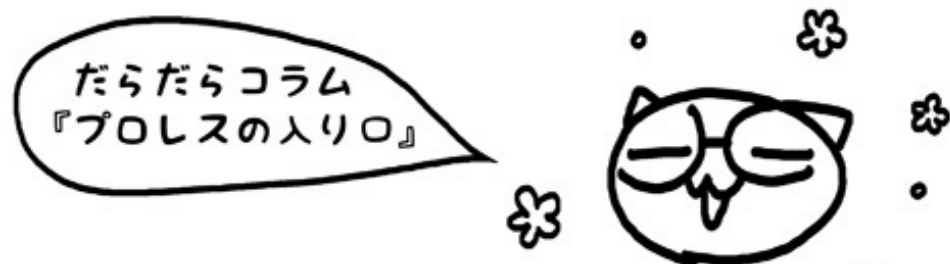
しかも、「プロレスとは、聖なる一回性である」という、たったひとつの言葉。この言葉を見た瞬間、体に電気が走ったような衝撃を受け、時間つぶしに立ち読みしていただけだったこの雑誌を、そのままレジへと持っていったのを覚えています。

聖なる一回性——その瞬間、たった一度しか味わえない体験を共有すること。

初めて、プロレスを観るおもしろさがわかった瞬間でした。

それからの私は、『週刊プロレス』に掲載される主観と思い入れに満ちあふれた試合レポートやインタビューをむさぼり読んで妄想を深め、プロレス会場に足を運ぶようになりました。入り口が入り口だけに、新日本プロレスや全日本プロレスというメジャー団体に行くことは少なく、雑誌を見てピンときた団体を思いつくままに観ていました。初めて観た団体は浅井離脱直後でパンクラ抗争をしていたユニバーサルでしたし、初めて観た女子プロレスはJWPの斎藤澄子引退興行、唯一観たU系は藤原組最終興行、初めて観た地方興行はオリエンタルプロレス対宮川道場の金網戦…（もはや暗号）。その後は、ハヤブサを中心とした新生FMWのストーリーに激ハマリし、その消滅とともに『インディーのお仕事』『DDTドラマティックファンタジア』に流れて、立派なインディープロレスマニア(?)の道をひた走るわけですが——『週刊プロレス』という入り口に偶然出会わなければ、プロレスに興味を持つことさえなかったでしょう。

プロレスって、プロレスファンが思う以上に、とっつきにくいのです。



非プロレスファンの同僚たちと某武将祭に行った帰り道、彼らが異口同音に口にした言葉が忘れられません。

「今日のプロレスは、会場に実況が流れてないから訳がわからなかった」

そうです。プロレスを生観戦したことがない彼らは、会場でもTVと同じように実況が流れて、いろいろ解説してくれるものだと思っていたのです。しかも、元々プロレスに興味がないので、実況や解説によるサポートがないと何が起きているかさえわからないというのです（それでも、飯伏だけは大人気でしたか）。

今、インターネットの普及もあってプロレスの魅力を動画で伝える環境は整いつつありますが、新しいファンを獲得するためには「わかりやすく魅力を伝えて、入り口に入りやすくしてくれる人」が必要だと思います。

そう、それが、神実況コンビ（村田晴郎&鈴木健.txt）。

実際、実況の村田晴郎さんはそのわかりやすい語り口で奥様にプロレスの魅力を伝え、解説の鈴木健.txtさんは元『週刊プロレス』を代表する記者のひとりとして私にプロレスの楽しさをたくさん教えてくれました。

もし、この本を読んで、ちょっとでもプロレスに興味をわいた方は、彼らのネットラジオ番組『DX-R』を聞いてみてください。四十路のおじさんふたりが楽しそうにプロレスやらなんやらについて語るのを聞いているだけで、幸せな気分になれますよ（ほめ言葉）。

この同人誌も、誰かにとっての「プロレスの入り口」になるといいなあ……なんて、思いつつ。

（以上、敬称略）

※週刊プロレス：プロレス専門誌。元の試合よりも魅力的なレポートが掲載されることがあるのが特徴

※神実況コンビ：DDTプロレスリング中継『ドラマティックファンタジア』実況解説コンビ・村田晴郎&鈴木健.txtの通称。透明人間v s 透明人間、キャンプ場に向かう車中から見える風景、カリスマ美容師によるヘアスタイリングなど、彼らが実況解説するプロレスの範疇はおそろしいほど広い

※DX-R：神実況コンビによるネットラジオ番組。2011/9/1現在、第75回まで配信中。試しに第1回から聴き直してみたら約98時間楽しめました。
http://csr-inc.co.jp/kami_jikkyoh/

プロレスは
強い弱いじゃない



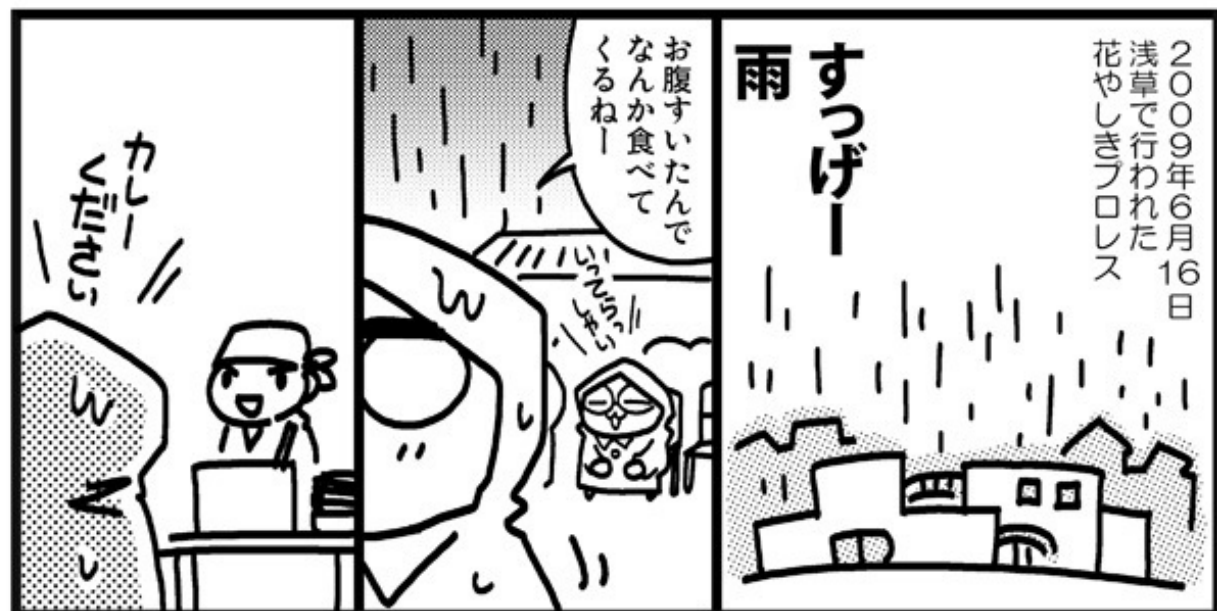


邂逅

2009年6月16日
浅草で行われた
花やしきプロレス

すっげー
雨

お腹すいたんで
なんか食べて
くるねー





おおおおおおお
どんどんだげん
!!!



プロレスの話
じゃない？

だって村田さん目の前にして
なにを話せばいいのか
わからないじゃん！

笑顔。



うわあああああ



「神実況」Discography

キャンプ場プロレス観戦バスツアー車中でのフリーダムなフリートークで、一躍プロレスファンの間で知られるようになった神実況コンビ。D D T、全日本プロレス、みちのくプロレスの実況解説をはじめ多くの場面で活躍する彼らの主催するイベントについて、ここでまとめて紹介する。

■神実況ドラマティック・ドリーム・トークライブ■

神実況コンビが、新宿ロフトプラスワンで定期的で開催しているトークイベント。基本的には、神実況コンビがメインの第1部とゲストを迎えての第2部という2部構成で行われる。

単なる「プロレス関係者を迎えてのトークイベント」にとどまらず、毎回新しい試みに挑戦するのが特徴。そのため、神実況と銘打っているものの、けっこう早い段階で実況と関係なくなった。

随時DVDが発売されているので、興味のある方は購入されたし。

●神実況ドラマティック・ドリーム・トークライブ～Fantasy.Reality & Happy～

2009年11月12日(木)開催 ゲスト:男色ディーノ

キャンプ場プロレス観戦バスツアーでの神実況ぶりがウワサにウワサを呼び、必要以上にふくらんだ期待感の中で行われた記念すべき第1回トークイベント。主催者の予想を遙かに上回る超満員の観客がつかめかけ、その後のイベントの方向性を決定づけた。イベント中に神実況コンビから「とぼすけ」の名前を呼ばれ、奥様ともども大感激。心身ともに鋼鉄のように硬い論客レスラー・男色ディーノの心が折れる音が聞けた、珍しいイベントでもある。

●神実況ドラマティック・ドリーム・トークライブII●

2010年2月25日(木) ゲスト:アントーニオ本多

第1回で上がりきったハードルを、サプライズゲストのディック東郷の登場により、あっさり飛び越えて見せた第2回。数年前に『マッスル』に初登場した際の細身のイタリアン時代から、ディック東郷との出会いを通じて、立派なプロレスラーへと変貌していったアントーニオ本多の姿が、ほほえましくも頼もしい。ディック東郷が、本多への想いをつづった直筆の手紙を読むシーンは必見。この時点で、ディック東郷は近い将来引退することを匂わせていた。

●神実況ドラマティック・ドリーム・トークライブIII～今林人生●

2010年5月27日(木) ゲスト:今林久弥.a.k.a.鶴見亜門

ディーノ→本多→鶴見亜門という『マッスル』つながりの愛宕な流れと思いきや、第2部では神実況&今林久弥による演劇「今林人生」が上演されるという超展開に、観客の誰もが度肝を抜かれた。村田晴郎演じるマッスル坂井の激似ぶりは、彼が元々声優であることを思い出させてくれた。最後のオークションで思わず落札してしまったアフロのカツラ(村田晴郎着用)は、今も我が家の本棚に飾られている。

●神実況ドラマティック・ドリーム・トークライブIV～ハッテンニーロク・アレナ・サヨコ●

2010年8月26日(木) ゲスト:三田佐代子

プロレス専門チャンネルFIGHTING TV SAMURAIで『S-ARENA』『インディーのお仕事』のキャスターを務める「プロレス界最強のディーナ」にして、生けるレジェンド三田佐代子。彼女のゲスト出演がエヴァ風のPVで発表された時に起きたどよめきは、過去最大といっていだろう。

●神実況ドラマティック・ドリーム・トークライブV～ザ・グレート・サスケの公開2011年大予言●

2010年12月15日(水) ゲスト:ザ・グレート・サスケ

トークライブ1周年を記念して、満を持してのサスケ登場。『週刊プロレス』時代の鈴木健.txtとの名物企画「ザ・グレート・サスケの大予言」がライブで観られるという、非常に濃密で貴重な時間となった。基本的にすべてを肯定しつつ受け流すという、サスケの独特の話し方が堪能できる。「当事者の努力or努力不足によって予言どおりにならなかった場合は、予言がはずれたことにはならないという許容範囲の広さには、生暖かい笑顔で見守ることしかできない強さを感じる。

●神実況ドラマティック・ドリーム・トークライブVI～村田晴郎プロデュースNight 晴郎無双×アニメ×漫画×マッスル～●

2011年3月19日(土) ゲスト:佐藤竜雄、吉松孝博、水島精二、内藤泰弘、藤原邦彦、鶴見亜門

初の村田晴郎プロデュースによるトークライブ。『マッスル』に強い思い入れを持つマンガ家、アニメ業界人が集い、2010年に最終回を迎えたマッスルについて語りまくる。初のプロレス業界以外からのゲストだったが、「ものを創る」という点での共通項が数多く語られたことで、非常に興味深いイベントとなった。ディレクターとかプロデューサーとか呼ばれる仕事をしている者には身につまされることが多い(私は亜門さんの味方です!)

●神実況ドラマティック・ドリーム・トークライヴⅦ & 高木三四郎のタバ〜DDT7・24両国前夜祭●

2011年7月16日(土)〜17日(日) ゲスト: DDTスーパースターズ

DDT両国大会の前夜祭として行われた初のオールナイトイベント。

前半の「高木三四郎のタバ」には村田晴郎は出演せず、鈴木健.txt、高木三四郎、大家健の3人がメインで行われた。

第1部では、両国大会での王座挑戦を控えたKUDOをゲストに迎えて、彼の学生時代・若手時代の鬼畜&法律ストレスなエピソードを暴露。第2部は、男色ディーノを迎えての、観客の質問すべてに答える討論会(?)「ここが変だよDDT」。

どちらも両国大会の直前にやるべき内容ではないが、これを笑顔でやりきる大社長の姿が、

DDTの自由すぎる社風を物語っていた。KUDOがDDTに入った遠因と

エビスコ酒場の店長になった遠因が、同じキーワードが繋がっていたのは人生の不思議さか。

夜が更けるほどに、目に見えて疲れていく村田晴郎とどどん元気になる鈴木健.txtの対比も興味深い。

■神実況ドラマティック・ドリーム・トークライヴ(地方大会)■

ドラマティック・ドリーム・トークライヴの地方大会。過去に名古屋のプロレスの聖地・スポルティーバアリーナ、札幌ローグで開催され、大阪、福岡などでの開催を熱望する声も多い。in名古屋では生試合実況、in札幌ではミニライブを行うなど、地方大会ならではの仕掛けが観察されている。

●神実況ドラマティック・ドリーム・トークライヴin名古屋●

2010年8月15日(日) ゲスト:ウルトラマンロビン

ドラマティック・ドリーム・トークライブファン待望の地方初進出。

第1部ではザ・グレート・サスケvsウルトラマンロビンの試合映像を観ながらの生実況、

第2部ではウルトラマンロビンをゲストに迎えてのトークショーが行われた。

●神実況ドラマティック・ドリーム・トークライヴin名古屋Part2●

2011年2月5日(土) ゲスト:スポルティーバエンターテインメント会長・斉藤涼

第1部では、クボタブラザーズの隠し球・ゼロ久保田のデビュー戦が行われた。

対戦相手はアーノルド・スケスケジャーナー。透明人間同士の戦いは、名古屋初の快挙だったと思われる。

●神実況ドラマティック・ドリーム・トークライヴin札幌〜大日本テイセン前夜祭●

2011年4月2日(土) ゲスト:沼澤邪鬼

第1部で北海道でのプロレス取材の想い出、菊池孝氏のエピソード、ラジプロの歴史などが語られたのち、

ライブ3曲をはさんで、沼澤邪鬼をゲストに迎えた第2部がはじまるなど、地方大会ならではの

ビックリ箱感にあふれたトークライブ。この日41歳を迎えた山川竜司、ヌンチャクアーティストの宏樹と

いったサブライズゲストも豪華だった。

●神実況ドラマティック・ドリーム・トークライヴin名古屋Part3●

2011年8月7日(日) ゲスト:彰人

第1部では、ミスター6号といとこのミスター0号のシングルマッチという地上派で放送されても

おかしくないドリームマッチが実現。プロレスラーとしてのミスター6号のストイックさが

クローズアップされるとともに、村田晴郎がマッスル自主興行以来のリング復帰(?)をさりげなく果たした。

■ウェブラジオDX-R公開収録■

神実況コンビによるウェブラジオDX-Rの公開収録イベント。

ドラマティック・ドリーム・トークライブⅢの翌日、新宿ロフトプラスワンイベント枠が空いていたことから急遽開催されることとなったという。プロレスファンをゲストに招く人気企画リアル最狂超プロレスファン烈伝を中心に、2週分(2時間)をまとめて収録。収録したラジオ番組は、公式サイトにアーカイブされている。

●村田晴郎 & 鈴木健.txt 2DAYS ~ウェブラジオDX-R公開収録~●

2010年5月28日(金) ゲスト:第1部=坂井良宏、第2部=Extreme Party、ハトえもん

第1部は、前日に行われた舞台「今林人生」の裏話がメイン。坂井良宏によるプロデューサー・鈴木健.txt論が

聞けるのは、DX-Rだけ!! 第2部はのちの名物企画「リアル最狂超プロレスファン烈伝」が初公開。

DDTファンの間では「神サイト」の通称で知られる観戦記サイトの管理人Extreme Party氏と、

年間観戦数が300を超える昭和プロレスの伝道師ハトえもん氏が語る衝撃的

エピソードの数々には、ロフトプラスワンに集ったコアなプロレスファンたちもただただ驚きの声を

あげるしかなかった。「街灯テレビにあこがれて、家の中に作ってもらった」

「興行に間に合わなくても一応プロレス会場までは行く」など、予想だにできないエピソードが満載。

●ウェブラジオDX-R公開収録2●

2010年11月10日(水) ゲスト:第1部=矢郷良明、第2部=代々木ロック様

「いつかゲストに呼ぶ」ことを条件に

ウェブラジオにオープニング曲を提供していた矢郷良明が、ウェブラジオ開始から約10か月を経て、

ついに登場。怪しげなバックボーンとアドリブ力の高さを存分に見せつけた。第2部では、WWEファンなら

誰もが知っている有名コスプレイヤー・代々木ロック様のプライベートが、ついに明らかに!

●ウェブラジオDX-R公開収録3〜変態バーサス珍獣●

2011年5月25日(水) ゲスト:第1部=佐藤光留、第2部=原正英

第1部では、変態の王と目される佐藤光留が、業界一のPerfume研究者として登場。広末涼子の実家に行ったのは1回だけではないこと、匂いで女性の下着色がわかることなど「これぞ武道」とうならされる変態エピソードが次々と披露された。

世が世なら、犯罪者である。第2部では、元週刊ゴング誌名物記者・原正英の常人離れしたキャラクターに

翻弄される神実況コンビという珍しい光景が目に見える。ちなみに、こちらのゲストも、世が世なら犯罪者である。

THE DRAMATIC ANNOUNCER



村田さんの実況が
素敵すぎて
DDTが倍楽しい！

09/2011 薄荷芋
また黒村田さんが観たいです。

No. 3があまったので、

夫婦が好きな選手列挙。

HARASHIMA、飯伏とケニー、
サバイバル飛田、ヨシヒコ、
中澤マイケル、男色ディーノ...
(思い出した順)

名前がでてこない...

↑
くゆしいゆけではない



ハヤブサ、怨霊、HERO!、マサ高梨、男色ディーノ、ヨシヒコ、
飯伏幸太、ケニー・オメガ、HARASHIMA、アントーニオ本多、
大家慶次郎、マッスル坂井、DJニラ、サバイバル飛田、木人ケン、河川ギラス、
ザ・グレート・サスケ、スペルデルフィン、新崎人生、カズ・ハヤシ、怪人ハブ男、
めんそ〜れ親父、タイガースマスク、菊タロー、くいしんぼう仮面、パラモン兄弟、
ディスコ・インフェルノ、アレックス・ライト、氷河戦士グレイシア、
ジャスティン・クレディブル、ウィリアム・リーガル、ザ・ロック、ハリケーン、
クリスチャン、ヴォルク・ハン、ザ・グラジエーター、ビッグ・タイトン、
ドクター・ルーサー、ドクター・ハニバル、サブゥー、田中将斗、
伊東竜二、関本大介、藤田ミノル、葛西純、CIMA、ミラノコレクションAT、
ドラゴン・キッド、KENSO、板倉広、荒谷信孝、木川田潤、阿部吉彦、
十嶋くにお、真霜拳號、MrX、ミスター6号、真琴、
さくらえみ、りほ、志田光……



目の前に

料理があります

ふんぞり。



たくさんつまれた料理は
とても美味しそうに
見えるもの

食べ方が
わからない

フォークもナイフも
あるんだけど

どの料理にどうやって
使えばいいのかわからない



ダンナ様は
上手に食べているようだ

ふと見ると
神実況コンビが
話をしながら
料理を食べている



村田さんは
DSなので

たまに料理に
向かってフオークを
投げつけたり
している



そして自分が
料理の一部に
なったりもしている



ふたりを見ていたら
なんとなく料理の
食べ方が
わかってきたので
いろんな人と
料理を楽しんだり

自分だけの
お気に入りを見
つけてみたり



あー
あー



最近やっと
美味しく食べられるように
なってきた気がします

うめえ

そんな感じ



娯楽の鉄則は、わかりやすさです。

選手たちがプロレス技をかけあっても、目が追いついていかないから何が起きているのかわからない。

選手同士が戦うストーリーや相関図があるらしいけど、どこで知ればいいのかかわからない。

囲碁や将棋みたいに、ルール本がでているわけでもない(※)。

夫に誘われ、プロレスに興味を抱いた私が目にした現実です。

プロレスは敷居の高い娯楽だと感じました。

高い敷居の向こうでふんぞり返っている、そんなイメージです。

そんな中、一度はプロレスから目を離れた私に、再び目を向けるきっかけくれたのが村田さんでした。

「面白いこと言ってるな、この人」から始まり、夫の手助けを経て少しずつですがプロレスを楽しんでいます。

高く見える敷居も乗り越えてしまえばさほどでもなく、正直なところ選手の名前も技もロクに覚えていませんし、試合を見ても「わっかんねー!」と連呼しているだけですがなんとかなっています(笑)

勢いで出してしまった同人誌ですが少しでも村田さんやDDTに興味を持っていただける方が増えると嬉しいなあと思っています。いやあすみません傲慢で。ていうか、村田さん本といいつつついづつの調子ですんません。村田詐欺テヘペロ。

個人的にはスカパーのサムライTVで放映されているDDTドラマティックファンタジアという村田さん(実況)と鈴木健.txtさん(解説)が出演されている番組が、非常にわかりやすくオススメなのですが、サムライTVって有料放送なんですよ(汗)。見るとニコニコしてしまうウェブサイトもオススメです!

ゲストの新藤力也さん(P.9)、薄荷芋さん(P.19)、ありがとうございました! 新藤力也さんはDDTでリングアナウンサーをされています(赤コーナー!とか言うアレです)。

芋さんは私が会場やらネットやらで一方向的にナンパしお付き合いいただいております…なんか…ホントすみません…。

ダンナ様にはコラムなど文章物を担当してもらいました。

文字数が多すぎてページに入りきらないと言ったところ

「文字を小さくすれば良い」との助言ありがとうございます。

結果がこれです。

また機会があれば、2冊目も作りたいです。

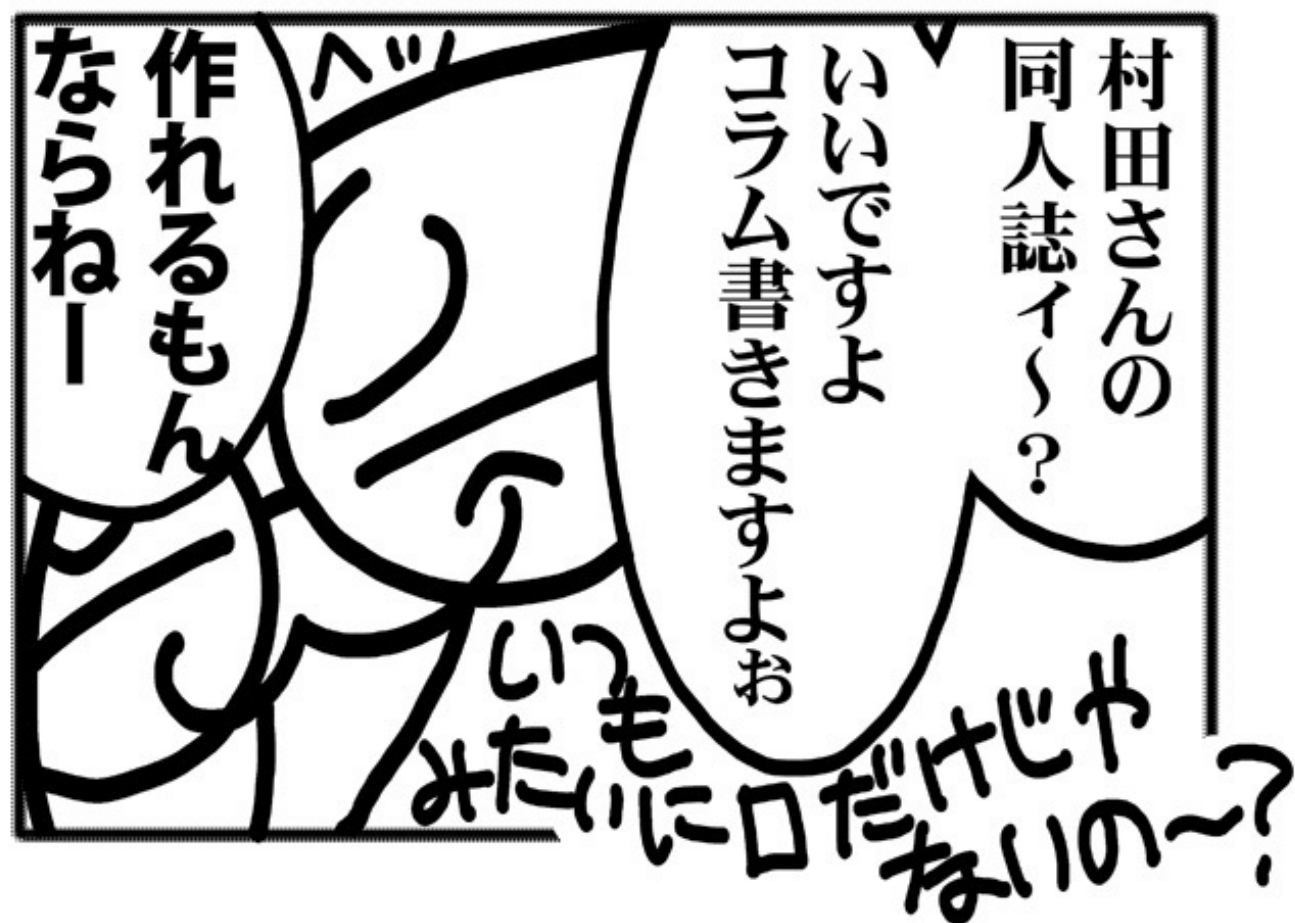
とぽくち

<http://daradaramainichi.com/>

Twitter ID: @topokichi

※ ざっと調べた限り初心者向けのプロレス本ってない気がするんですが、あったら教えてください。読みたいです。

この同人誌は



…という夫の一言で作られました。

ある意味ありがとうございます。

晴郎無双DARADARA（だらだら毎日別冊）

<http://p.booklog.jp/book/33781>

発行日：2011.09.08

著者： とぼすけ（だらだら毎日）

普段はコミックエッセイや日常生活4コマで活動しています。興味があればウェブもどうぞ

ウェブサイト/連絡先：<http://daradaramainichi.com/>

Special Thanks:

新藤 力也

薄荷芋

ねむねむ

村田 晴郎

鈴木 健.txt

（神実況コンビ）

感想はこちらのコメントへ

<http://p.booklog.jp/book/33781>

ブックログのパブー本棚へ入れる

<http://booklog.jp/puboo/book/33781>

電子書籍プラットフォーム：ブックログのパブー（<http://p.booklog.jp/>）

運営会社：株式会社paperboy&co.